武蔵野市第五中学校改築に関する近隣アンケート調査結果

実施概要
開催期間　令和２年8月26日～令和2年9月８日
回答方法　ウェブ、FAX、郵送
対 象 者　学校の敷地境界線から、現在の建物の２倍に相当する距離（＝２H 24m）の範囲内の居住者、事業を営む者、土地・建物の権利者
対象者数　120名
回答者数　27名　（回答率22.5％）

設問１　居住環境で重視している項目

	[ア 安全性]	[イ 静けさ]	[ウ 陽当たり]	[エ 風通し]	[オ 眺望]	[カ プライバシー]	[キ 周辺の景観・街並み]	[ク 周辺の緑の多さ・自然とのふれあい]	[ケ その他]
１位	9	9	2	1	0	1	1	0	1
２位	2	5	9	2	0	2	2	2	0
３位	4	2	2	2	0	5	5	6	2
小計	15	16	13	5	0	8	8	8	3

その他: 周辺の見晴らし、防犯

設問２　五中とのかかわり

卒業生、家族が卒業生	3

設問3　新しい五中に望むこと

	[ア 多様な教育活動]	[イ ICT＊環境の充実]	[ウ 避難所機能の充実]	[エ 地域連携機能の充実]	[オ 校庭、体育館などの地域開放機能の充実]	[カ 豊かな緑]	[キ 良好な景観]	[ク 省エネルギー化など環境にやさしい建物]	[ケ 安全・防犯機能の充実]	[コ その他]
１位	5	1	4	0	1	3	4	2	3	2
２位	0	1	6	1	1	3	4	2	5	1
３位	2	0	6	1	1	5	2	3	4	0
小計	7	2	16	2	3	11	10	7	12	3

その他: 他者や地域社会と共生していく新しい生き方を学んでいける教育活動
新しい学校はいい施設をつくってほしい

設問4,5 困っていること

	[ア 校庭からの砂埃]	[イ 学校授業・部活動などの音]	[ウ 校舎や校庭からの視線]	[エ 校庭の樹木からの落ち葉]	[オ 校庭や樹木からの虫]	[カ その他]
１位	2	0	0	1	0	5
２位	0	2	1	2	3	0
３位	0	0	2	2	0	2
小計	2	2	3	5	3	7

その他：雑草による夏場の湿気、栗の木のにおい、樹木や雑草の越境、登下校時の生徒のマナー

設問７　改築事業への意見

・とにかく校庭と住宅地は離してほしい。
・圧迫感に配慮し、塀から敷地境界まで１ｍほど離してほしい。
・工事中の避難所を確保してほしい。
・工事車両や工事の音にも配慮を。
・解体工事前に近隣の家屋調査をお願いしたい。

設問６　配置計画案への意見

	北配置案		南配置案		東配置案		西配置案	
賛成の数	13	52%	4	16%	2	8%	3	12%
反対の数	4	16%	11	44%	12	48%	12	48%
その他	8	32%	10	40%	11	44%	10	40%
賛成理由	・使いやすそう ・既存樹木を切らずにすむと思う ・砂埃が防げる ・環境が今と変わってほしくない（騒音、砂埃） ・完成が早い ・校庭が南向きで明るい		・北側の防犯性（死角なし、人の目あり）、陽当たり、風通しの改善 ・夏場、校庭に日影の創出 ・正門から校庭と校舎が一望できる ・プールと体育館が一体		・北側に死角ができないので安心		・ゾーニングが良い ・夏の夕方校舎の影ができ、部活動がしやすそう	
反対理由	・校舎からの北側住宅地への視線 ・校舎の北側が死角となり防犯上不安 ・仮設校舎による東側住宅へ陽当たり、風通しの影響 ・仮設校舎にかかるコスト		・北側住宅地への校庭、テニスコートの音 ・北側住宅地への校庭の砂埃 ・校庭に影がおち、教育環境としてよくない ・生徒のアプローチ動線が北側住宅地に近い →プライバシー、圧迫感、騒音 ・井ノ頭通り沿いの校舎は教育環境としてよくない ・東側住宅地への陽当たり、風通り、視線の影響		・東側住宅地への風通し、騒音、視線、圧迫感の影響 ・北側住宅地への砂埃 ・校庭の音が北側に抜ける ・校庭の陽当たりが悪い ・雨水浸透貯留槽再整備が必要 ・北側へ運動会の音 ・テニスボールが井ノ頭通りに飛ぶのでは ・プールと体育館が離れてしまうと不便		・樹木の伐採が必要になるのでは ・北側が死角になり、防犯上不安 ・北側住宅地へプールの音 ・生徒のアプローチ動線が北側住宅地に近い →プライバシー、圧迫感、騒音 ・北側・東側へ校庭からの騒音、砂埃、視線の影響 ・西側への圧迫感 ・井ノ頭通り沿いの校舎は教育環境としてよくない ・工期が長い	
その他	・校舎の北側は特別教室など常時利用でない部屋を配置してほしい。		・東側敷地境界から建物をなるべく離してほしい。		・プライバシー、騒音、砂埃への対策はしっかりとってほしい。		・東側敷地境界から建物をなるべく離してほしい。	